

ミニロボルールブック

競技課題名

【パワー poi ント】

はじめに

- 畳を傷める恐れがあるので出場チームはロボットを畳の上に置かないでください。
- ハンダ付けを行う場合は机等を汚さないように下に何か敷いください。
- 会場での加工は会場を汚す恐れがあるので、できるだけ控えてください。
- ピット会場でのコンセントを使用する機器の消費電力は事前に申請してください。
- ミニロボ参加者は以上のことを注意して、大会にのぞんでください。

概要

ロボットに取り付けられた2本のポイを3分間で取り合い勝敗を決定する。

● 競技環境

■ 対戦方式

大会参加人数によって決定される。

■ フィールド

1. 1800[mm]×1900[mm]のロンリウムを使用する。
2. 1800[mm]×1900[mm]のフィールド内に対角にスタートゾーンを設ける。
3. フィールド外にはフェンスは設置されない。

■ ロボット

1. ロボットは300[mm]×300[mm]× 300[mm]のサイズに収まってい

ること。

2. ロボットの重量は 7 [kg] までとする。コントローラは含めない。
3. ロボットに印加される電源の電圧は定格 24V 以下とする。
4. ロボット 300[mm]×300[mm] の外側対角にポイを入れるため 15×15 t1 の角パイプを設けること。
5. ポイはロボットに取り付けた角パイプの中に一本ずつ入れること。また使用するポイはワンタッチすくい枠 3 色セット 15 個
(<https://amzn.to/2xuyXDS>) であること。ポイの詳細はポイ詳細図を参照すること。
6. 一体のロボットにつき、一部分だけ上下左右含め 600 [mm] までの展開を認める。ただし展開部分の分岐は禁止とする。
7. ロボットの分離は認められない。また飛び道具などの使用も禁止する。
8. ロボットの操縦方式は無線限定とする。
9. ロボットには必ず非常停止スイッチを 1 つは設けること。また非常停止スイッチは黄色い土台に取り付けた赤い押しボタンとし、押すことで全ての駆動系電源が切れること。
10. 詳細に関しては、フィールド図を参照すること

● 競技内容

■ 試合時間

1. 試合前に 1 分間のセッティングタイムを設ける。
2. セッティングタイム中にロボットをスタートゾーンに配置する。
3. セッティングタイム終了後、選手はロボットに触れてはならない。
4. 審判の合図があるまでロボットは上空を含めてスタートゾーンを出てはならない。
5. 審判の合図後、ロボットは、相手のポイを取りに行く。
6. 競技中にロボットがフィールドからロボットを倒したり、出たり、出されたりした場合 [1 回目 注意] [2 回目 ポイ 1 本没収] とする。没収するポイは操縦者が選ぶことができる。
7. お互いのロボットが絡まって動けなくなった場合は、審判から「待て」の合図があり、引き離してから審判の合図で再開する。その際にタイマーは止まらない。

8. どちらかのチームのロボットのポイ二つを取って V ゴール達成するか、もしくは競技時間 3 分が経過すれば終了とする。

■ 勝敗

1. V ゴールを達成したチーム、もしくは競技終了時点でポイを多く保持しているチームが勝利とする。
2. ポイ 1 本の得点は 1 点とする。
3. 試合終了時、同点または同時に V ゴールを達成した場合は、じゃんけんとする。

■ 制約

1. 出場するロボットは 1 チームにつき 1 台までとする。
2. 競技中にいかなる場合であっても非常停止スイッチが押された際は自己責任とする。
3. 高圧ガス（常圧においてゲージ圧力が 1MPa 以上）や爆発物等、危険なエネルギー源を用いてはならない。
4. バッテリーの種類・搭載位置に制約はないが、競技中に発火・爆発等がないように工夫し、その管理を徹底すること。
5. フィールド内にメロンパンまたはナナパン等の飲食物を持ち込んではいない。
6. 人体・フィールド、その他環境に対して有害なものは禁止とする。
7. 塗料・粘着物等でフィールドを汚染する行為は禁止とする。
8. 公衆の混乱を招く恐れがあるもの（非常ベル、緊急用アラーム等）の使用は禁止とする。
9. 以上の制約を試合開始までに守れなかった場合、当該チームの参加は認められない。
10. 会場内の様々な要因から、通信障害等によりコントロールできない状況もありえるためこれらの影響に備えて準備すること。また事前にメールで使用する通信規格を申し出ること。その後 HP で通信規格を公開する。

● 競技の進行

■ 競技の進行

マシンの不具合や禁止行為により、審判団は競技の停止、およびマシンの排除をすることができる。

■ リスタート

1. マシンが故障などの何らかの理由で身動きできない場合、操縦者は審判に申告し、フィールド外で調整することができる。
2. リスタートの回数に制限は設けないが、承諾は審判の判断による。

● 禁止行為

■ 以下の行為を行った場合はペナルティを課す

1. 塗料・粘着物によりフィールドを汚す。
2. 操縦者が意図的にフィールドに入る。

■ 以下の行為を行った場合は失格とする

1. 審判・相手チームへの暴言・罵倒・暴力などそれに準ずる行為を行う。
2. ロボコニストにあるまじき行為をする。

● ペナルティ

1. マシンの停止・再開は審判団の指示による。
2. 禁止行為を行った時点でそのチームから一本ポイを没収する。またその際に没収するポイは相手チームの操縦者が選ぶことができる。